

憩いのパークの魅力

冬の「平成館」



◀「ホテルのようなロビーと階段。くつろぎ」と「やすらぎ」の空間です。

季節の移ろいととも、ネーブルパークの樹木も落葉し、すっかり冬支度が整いました。先日まで菊まつりでにぎわっていた園内も、今は静かで落ち着いた雰囲気です。

今回は、木立にたたずむネーブルパーク研修センター「平成館」を紹介します。

「平成館」は平成4年秋に、泊まれる研修施設として開館しました。もちろん研修だけでなく、家族やグループなど一般の人も利用でき、開館以来多くの皆さんに利用されています。

この規模としては珍しい木造2階建ての落ち着いた雰囲気建物で、研修棟と宿泊棟に分かれています。

玄関を入ると、建設当時と変わらない木目の美しい螺旋状の大きな階段が目に入ります。研修棟はロビーと2つの研修室、レストランに分かれ、中庭を隔てた宿泊棟は宿泊室と浴室になっています。

平成館から眺める風景は、

四季折々の季節を感じられ、利用された皆さんから好評をいただいています。

平成館では、今年も季節感をたっぷりお楽しみいただける、冬季限定宿泊パックを2つご用意しました。

①「クリスマス宿泊パック」 (12月1日～25日)

夕食にクリスマス特別メニューを用意しています。

②「冬季宿泊パック「つどい」」 (平成29年1月7日～2月28日)

新年会などに利用できます。

今年からは、年末年始も休まずに営業。どうぞ冬のネーブルパークを存分にお楽しみください。

皆さんのお越しを心よりお待ちしております。

【問】研修センター「平成館」

☎91-2080



表紙写真



1455年、足利成氏が鴻巣御所という城を築き、東関東を支配した古河公方という将軍になったことから栄え始めた歴史のあるまち「古河」。

市内小学生に武者行列を体験してもらい、歴史ある古河に愛着をもってほしいと、古河史楽会のメンバーが「古河公方こども武者行列」を企画。11月6日に開催された「古河よかんべまつり」で初めて披露されました。

手作りの鎧を身にまとい、「エイエイオー」と声を高らかにする子どもたち。会場内を練り歩く勇ましい姿は頼もしく、りりしい表情もみせていました。



寄付



廣田久さん(東山田)より、古河歴史博物館へ『南総里見八犬伝』95冊の寄付。

中里泉さん(埼玉県)より、古河歴史博物館へ中里(早川)家歴史資料305件の寄付。

古河市データ

人口

(11月1日現在) 住民基本台帳から	
総人口	144,430人 (+36)
男	72,705人 (+77)
女	71,725人 (-41)
世帯数	59,526世帯 (+42)
	() 内は前月比